

平成28年4月23日

## 助成事業実施報告書

団体名 国分寺あゆみ会

代表者・役職名 氏名 会長 須長靖夫



### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. 助成プロジェクト名

家族による【家族相談】の確実な実施と向上

### 2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

創設当時、精神病は未だ障害者と認定されておらず、社会から隔離されるべきものとして扱われていました。その管理責任は全て「保護者制度」により、家族となっていました。この状態で家族が自分自身を支えるために「東京精神障害者家族会連合会」の傘下に家族会として加わり、相互理解の基に、仲間として連携し協力し合って活動していくために創設しました。

1973年(昭和48年)11月25日創設。会員約60名

### 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

その昔、呉秀三という学者さんが「わが国十何万の精神病者はこの病を受けたの不幸のほか、この国に生まれたるの不幸を重ねるものというべし」という言葉を残されました。正にその通りで、二つの不幸を重ねたくはありませんし、避けなければなりません。

一方、社会的な流れとして、平成13年頃から、精神への対応が保健所から市町村へと役割が移譲して参りました。そうした状況下で、「自助能力の形成」を事業活動の基本とし、自立支援事業:ピュアハートと相談支援事業:家族相談を家族会活動の柱に据え、お互いに支え合っています。

### 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

会員の中から担当スタッフとして相応しい人を数名選び、機会があれば講習会や研修なども重ね、原則的に毎月第1と第3水曜日に10:30~15:00の時間帯で「あゆみハウス」内で待機し、守秘義務を課しながら、相談支援事業を展開しています。

市内の社会福祉法人の支援を得ながら、また、国分寺すずかけ心療クリニックと連携しつつ、相談支援事業の充実を図っています。

担当会員による相談に対する姿勢としては、先ず相手の話をじっくり聞くことを基本にし、手に余る困難事例については社会福祉法人はらからの家福社会及び国分寺すずかけ心療クリニックの支援を得ながら、可能な範囲で途切れることなく相談者に関わっていくように努めています。

### 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

地域や社会の中で精神の家族が相談支援を一生懸命継続させていくことは極めて重要なことと思っています。

相談支援という地道な家族会活動が、行政や真如苑様などの目に留まり、社会の関心呼び寄せることに繋がる一端と思います。最近では、新聞及びマスコミなどで精神疾患や精神薬のことが広く取り上げられるようになりました。それだけ多くの国民が日常生活において精神の医療と福祉に無関心ではいられない状況が出現しているということです。今は、主に家族会員を対象にしている相談支援ですが、一般市民の方々からの問合せも少しずつ増え、地域や社会にそれなりの効果を醸し出しているのではないかと確信しています。

#### 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

真如苑「Shinjo プロジェクト」市民活動公募助成による心温まる支援が、“家族による【家族相談】の確実な実施と向上”に関し、更なる活動強化への熱い想いを会員の中に沸き上がらせております。今期のプロジェクトを先ず感謝を以て受け止め、今後は、会員みんなが確実な実施と向上に向け、希望を持って更に自己努力していく所存です。

この自己努力が、今回「国分寺すずかけ心療クリニック」と「社会福祉法人はらからの家福祉会」からの、相談支援に対する後押しに繋がったわけですが、今まで以上に自助能力の形成に勤め、邁進して行く想いを新たにしています。

しかし一方、次年度以降も、真如苑様の助成を頂きたいとの思いも正直なところあります。

#### 7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・  
特になし